

# 出水期に向けて風水害に備えよう！ あなたの準備は万全ですか？ 家族防災会議を開きましょう！！

近年、全国各地で災害が発生しています。災害はいつ、どこで発生するか誰にもわかりません。しかし、その備えはできます。日頃から家庭内で防災会議を開き、防災に関する情報を共有しておくとともに、災害発生時、大切な命を守るために、正しい知識を身につけましょう。

## 防災体制の基本①

- ・自分の命は自分で守る **自助 = 7割**
- ・まちの安全はみんなで守る **共助 = 2割**
- ・地域のインフラ整備を進める **公助 = 1割**

➔ 「住民」「自治会や事業所」「行政」の三者間のパートナーシップが重要

## 防災について話し合おう 避難場所や避難経路を確認しておきましょう



これから集中豪雨（梅雨）や台風などによる本格的な出水期（6月～10月）を迎えます。台風による大雨や局地的な豪雨により、あなたの住まいや勤務先が被害にあうかもしれません。「その時」が来る前に、日頃から備えておくことが大切です。

「ハザードマップ」で、お住まいの地域の危険場所を調べ、家族や地域の方と避難場所や避難する道順を話し合しましょう。

また、指定された避難場所への避難にこだわらず、安全な親戚・知人宅への避難も考えましょう。

### 災害発生時に備えて 持出品を準備しておきましょう

非常持出品とは、避難するときに持ち出す最低限の必需品です。重すぎると避難に支障が出るので、必要最低限のものをまとめて、すぐに取り出せるところに保管しておきましょう。

非常持出品チェック表(例)	
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 食料
<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 乾電池
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん	<input type="checkbox"/> スリッパ
<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> 常用薬
<input type="checkbox"/> お薬手帳	<input type="checkbox"/> 雨具
<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> アルコール消毒液
<input type="checkbox"/> 体温計	

- 1 自宅は安全か
- 2 避難場所はどこか
- 3 地域の危険場所はどこか
- 4 どの道を通って避難するか
- 5 子どもやお年寄りはどうやって避難するか
- 6 非常持ち出し品を準備しているか

## 自主防災組織に対する補助制度を活用しよう！

自主防災組織とは、地域住民が連携・協力して災害から「自分たちの命・地域を自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織のことで、主に区単位で構成されています。

町では、その組織に対し、防災対策の強化や自主的な避難所の開設・運営、安否確認への協力を促進するため、防災資機材購入費や防災活動にかかる費用の一部などを補助しています。

- 補助対象経費**
- ・自主防災活動に必要な防災資機材の購入費（9 / 10補助、上限45万円）
  - ※対象となる資機材は、(1) 防災倉庫、(2) 消火用具類、(3) 救出救助用具類、(4) 運搬用具類、(5) 照明用具類、(6) 炊飯用具類、(7) 安全用具類、(8) 避難所用用具類、(9) その他（テント、防水シート）など
  - ・自主防災組織が自主的に防災訓練等を開催したときに、参加者のお茶代程度の購入費（参加者1人につき100円、上限1万円）
  - ・自主防災組織が地区防災計画、地区防災マップ作成に係る費用（上限1万円）
  - ・自主防災組織が行う防災研修会に係る講師代の助成（上限1万円）

申請方法などの詳細は、町ホームページまたは防災安全課までお問合せください。



## 防災体制の基本②



### 災害の種類ごとに事前に避難場所を確認しておきましょう。

1. 気象情報を確認し、行動する目安をつくりましょう。
2. 家族や知り合い、親戚に避難場所を伝えましょう。

避難とは「危険な場所から安全な場所へ移動すること。安全な場所にいる人はむやみに避難する必要はありません。」

**避難のポイント**  
危険な場所から安全な場所へ避難しましょう。安全な場所にいる人はむやみに避難する必要はありません。特に夜間や非常に激しい雨の時に屋外に出ることは危険です。車での移動も災害に巻き込まれるおそれがあります。  
※万が一避難できない場合は、少しでも安全な部屋や近くの建物へ移動するなど、命を守るための最善の行動をとりましょう。

**気象や避難に関する情報を知る手段を確認しましょう**

災害が発生するおそれが高い場合、町が避難指示を発令し、防災行政無線やテレビ、インターネットなどを通してみなさんにお伝えします。スピーディーに正しい情報を受け取るために、町が配信する「お知らせメール」や「公式LINE」の登録を行いましょう。

**日頃からテレビやインターネットで気象状況を確認しましょう**

日頃からテレビやラジオ、インターネットで、自分の住んでいる地域の気象や災害に関する情報を確認し、災害に備えることが大切です。  
雨雲の動きや河川の水位、土砂災害警戒情報、ハザードマップなどを日頃から確認する習慣を持ち、危険な状況になつてからあわてないようにしましょう。  
スマートフォンやパソコンから閲覧できる気象庁の「キキクル」では、該当地区の災害発生危険度を確認できます。また、道路状況などは、福井県河川・砂防総合情報のサイトから確認できますので、ぜひご利用ください。



## 防災情報の確認方法

スマホで

**越前町ホームページ**  
避難所一覧やハザードマップなどの防災情報が確認できます。  
  
〈必要なこと〉 ブラウザでお気に入り登録など

**気象庁キキクル**  
気象庁が管理・運営するホームページです。気象情報が確認できます。  
  
〈必要なこと〉 ブラウザでお気に入り登録など

**福井県河川・砂防総合情報**  
福井県が管理・運営するホームページです。河川水位や雨量、河川カメラが確認できます。  
  
〈必要なこと〉 ブラウザでお気に入り登録など

**緊急速報メール(エリアメール)**  
専用の警報音でお知らせし、自動的に画面に表示されます。  
  
〈必要なこと〉 設定不要 ※原則、自動的に受信します(端末の設定を確認してください)一部対応していない機種がありますので、詳しくは携帯電話会社へお問い合わせください。

**町公式LINE**  
災害時の情報等をLINEのトーク画面でお伝えします。  
  
〈必要なこと〉 QRコードを読み取り、友だち追加

**町お知らせメール**  
災害時の情報等を携帯のメールへ配信しています。  
  
〈必要なこと〉 QRコードを読み取り、登録

**防災行政無線 電話サービス**  
防災行政無線の最新の放送内容から順に5件まで聞くことができます。  
  
〈必要なこと〉  
① 0778-34-1444  
② 0778-34-1445  
③ 0778-34-0866のいずれかに電話をかける  
※混雑時には通話中となることがあります。(通話料必要)

**テレビのdボタン**  
NHK総合テレビのデータ放送で、気象情報や防災情報、河川水位などが確認できます。  
  
〈必要なこと〉 テレビリモコンで「dボタン」を押し「防災・生活情報」を選択 ※NHK総合テレビの場合です。

**防災行政無線**  
「避難指示」「緊急安全確保」ではアナウンス前にサイレンが鳴ります。  
  
〈必要なこと〉 設定不要 ※気象状況等により聞き取りづらい場合があります。放送後に内容を確認する場合は「防災行政無線電話サービス」などをご利用ください。

**戸別受信機 (防災行政無線)**  
防災行政無線の内容を自宅に設置した戸別受信機よりお知らせ。  
  
〈必要なこと〉 防災安全課へ事前申込 ※工事が必要となりますので、設置業者より申込者へ電話連絡があります。無償で貸出しますので、工事を伴う移設や撤去は防災安全課で手続きが必要となります。

何を調べれば良いか把握し  
**ご自身で情報を確認**

事前登録や通知方法を把握し  
**自動的に情報を受信**

問合せ先 防災安全課 ☎34-8721